

令和5年度 埼玉精神神経科診療所協会主催 市民講座

「ネット社会とメンタルヘルス」

日時 令和5年 10月15日(日)
12:30 開場 13:00 開演 15:30 終了予定

場所 武蔵浦和コミュニティセンター9階 多目的ホール
(武蔵浦和より徒歩2分) さいたま市南区別所 7-20-1

入場・視聴 無料

開場参加(定員120名): 先着順

オンライン参加: 申込期間は9月1日~10月10日

(会場参加からオンライン参加への当日変更はできませんので、ご注意ください)

- * 開場参加者はトラブル防止のため、マスクを着用ください。
- * 開場参加・オンライン参加共に録音・録画・撮影は禁止です。
- * オンライン参加の申し込み方法は裏面をご覧ください。
- * 資料配布を行う場合は、開場参加者のみが対象です。

講演

「ネット社会とメンタルヘルス」

立正大学名誉教授・あいクリニック神田理事長
西松 能子 先生

対象: 市民、子育て中の方、教育関係者、医療・介護・福祉・心理・行政関係者、学生

お問合せ先: 志木北口クリニック TEL 048(471)2661

主催: 一般社団法人 埼玉精神神経科診療所協会

共催: 公益法人 日本精神神経科診療所協会

後援: 埼玉県・さいたま市・埼玉県医師会・埼玉県精神科病院協会

令和5年度 埼玉精神神経科診療所協会主催 市民講座

現代は情報化社会です。とりわけ国際化が進み、世界が身近になった現在では、インターネットは欠かせない存在になっています。

現在、インターネット環境さえ整っていれば、「誰もが」その瞬間瞬間の情報でさえ、発信することも受け取ることも可能になってきました。一部の専門家しか知り得なかった知識も容易に獲得が可能です。個人の発信する情報や意見をダイレクトに受け取ることで、多種多様な価値観や考え方も知り得るようになりました。

インターネットは情報の世界のみならず、その利便性からも、行政、経済、インフラ、教育など日常生活の隅々まで広く行き渡り、現代社会では必須のものになっています。

これらはいわばインターネット社会の「光」の部分です。

しかし、光あるところに影があるように、インターネット社会には「影」の部分もあります。そしてこの「影」の部分は、時に私たちのところや暮らしに強い影響を及ぼすことも知られるようになってきました。特に、子ども、社会経験の少ない若者、インターネットの波から離れがちな高齢者では、その傾向が強くなりがちです。炎上・誹謗中傷・いじめ・時には自殺といったネットトラブル、ゲーム依存・スマホ依存・ネット依存といわれる依存の問題、インターネットが絡んだ犯罪などがその代表ですが、それ以外にもところや暮らしに関するさまざまな影響が提起されています。

今回の市民講座は、立正大学教授の平松能子先生をお招きして、「ネット社会とメンタルヘルス」について、ご講演いただきます。この講座が、現代のインターネット社会を賢く生きる一助となればと願います。

今回の市民講座は昨年同様、会場参加とzoomを用いたオンライン参加の2つの形で行います。講演終了後には、会場参加・オンライン参加ともに質問時間を設けてあります。皆様のご参加をこころよりお待ちしております。

※ オンライン参加をご希望される場合は、右記QRコードから当協会ホームページ所定のフォーマットでお申し込み下さい。
(オンライン参加の受付期間:9月1日~10月10日)

《申し込みQRコード》

